

さくらそう

桜ヶ丘病院
な報誌

2025



 桜フェスタ

 能登半島地震から1年

 あれこれソレ！

 ルールは従う為にある??

最新ニュースもチェック▼

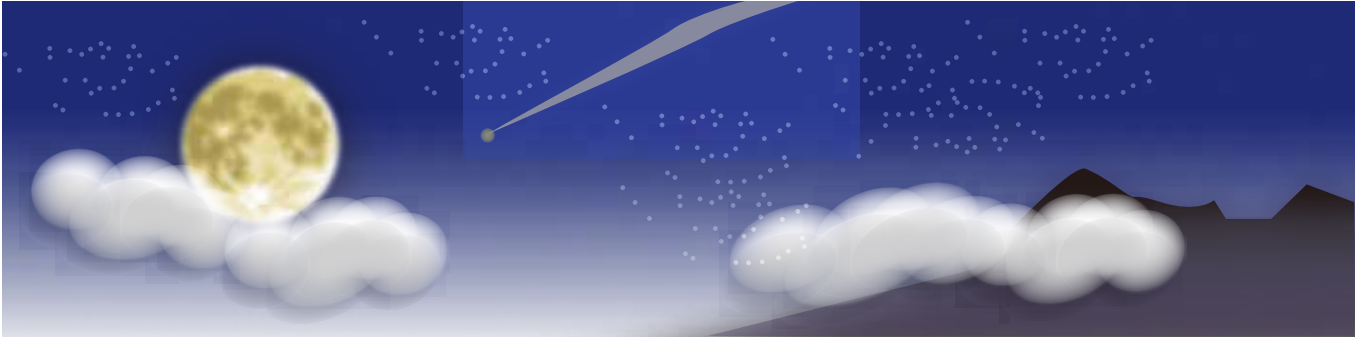
桜ヶ丘病院スタッフブログ

<http://e-sakurahp.com/staffblog/>



桜ヶ丘病院
Sakuragaoka Hospital





さくらそう50号の表紙

「月」

英: Moon(ムーン)、羅: Luna(ルーナ)、独: Mond(モント)、仏: Lune(リュヌ)、梵: चंद्र (チャンドラ)、希: Σελήνη (セレーネー) 日本語では「ツキ」というが、奈良時代以前は「ツク」という語形だったと推定されています。

コロナ禍やら、一年前の能登半島地震…それに加齢で(笑)あまり出かけることも少なくなってしまった私ですが、そのせいか月を見上げることが多くなりました。

「月」は地球の唯一の衛星で、地球から見て太陽に次いで明るい天体。太陽系の衛星の中では5番目の大きさで、太陽系の中では最も太陽に近い衛星となります。

月の石の放射年代測定により、約45億5000年前に誕生したこと、月の高地が斜長岩と呼ばれる火山活動や地殻の深部で形成される深成岩でできていることから、その歴史の初期に高温だったことが明らかになっており、地球や太陽系の形成と同じ頃らしいです。

さて、その月は27.32日で自転しながら地球の周りを27.32日かけて回っているので、満ち欠けはしますが、常に同じ面を向けているので、地球からは月の裏側を見ることは出来ません。

また、その「満ち欠け」をもとに決められた「太陰暦」は歴史的に見れば多くの地域で使われ、わが国でも明治5年までは太陰暦に閏月をいれて修正する今では「旧暦」と呼ばれる「太陽太陰暦」を用いていました。

ところで、月の存在や、月の引力がなくなると、潮の満ち引きを生み出す地球に作用する潮汐摩擦も無くなり、地球の自転速度は現在の1日約24時間ではなく約6時間～8時間程度になってしまい、地上はなんでも常に風速800mほどの暴風にさらされることになるそうです。木はおろか草さえ生えぬ荒涼たる風景をさらし、生命の進化も遅れていたものと想像できます。

さらに、月があることで地球の地軸の傾きは安定しており、安定した四季の変化を生み出すことにも役立っています。

まあ、最近の人類はそのことを忘れて、好き勝手やっているようにも思えますが、我々が地球で生きながらえているのも月のおかげと月に感謝してみたくはなりませんか？

(文責: いしかわ観光特使 藪 一明)

★病院機能評価を受審して★

去る10月29日、30日の2日間、5年ぶり4回目の病院機能評価(3rd G: Ver3.0)の受審をしました。

病院機能評価とは、簡単に言うと「日本医療機能評価機構が専門的・中立的に、病院の機能を評価し認定を行う事業」です。病院機能評価を受けることで、病院としての質を改善することができ、入院患者さんや地域住民の方々に安心が納得のいく医療サービスを提供することが出来ます。準備段階では、当日までに各部署の担当者や委員会を中心に議事録の確認やマニュアルの整備を行い、外部の方(サーベイヤー)の資格のある方)に依頼し模擬サーベイも実施しました。受審本番では多職種で協力し、一人ひとりの患者さんへ提供したケア(入院から退院までのプロセス)をまとめ、充実したプレゼン資料を作成することができました。その際には、いつも以上の「多職種協働」という一体感が感じられました。今回の病院機能評価受審は、桜ヶ丘病院にとって絶好のブラッシュアップの機会になったと思います。自分自身、当病院に永く勤めています。桜ヶ丘病院を深く知り得る良い機会になったと思います。利用者の方々、地域の方々、当病院で勤めている職員にとっても、「より魅力ある桜ヶ丘病院」になればと思います。

最後になりますが、無事に2日間の受審が終了しましたことを各スタッフ、関係者の方々に感謝申し上げます。ありがとうございます。ありがとうございました。

★ ★ ★ 看護部 崎本修平

★千田葵会館の地域サロンにお招き頂きました(~~*)★

地域サロンは、地域にお住まいの住民が気軽に集える場所をつくることを通じて、地域の「仲間づくり」「出会いの場づくり」「健康づくり」をするための活動です。今回は地域包括支援センターふくひさ様よりご紹介頂き、千田葵会館の地域サロンで地域にお住いの方々に話させて頂く機会を頂きました。

当病院から看護師・精神保健福祉士・薬剤師・作業療法士が参加させて頂き、「認知症を知ろう」をテーマにお話をさせて頂きました。内容は『認知症の種類と症状』『認知症のお薬の話』『認知症予防の体操』などを実施いたしました。参加者の皆さんの認知症に関する関心は高く、ご質問も頂き大変有意義な時間とさせて頂きました。

地域における「仲間づくり」「出会いの場づくり」「健康づくり」は、健康寿命「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」を伸ばすために大変重要なことのひとつです。これからも地域の皆さまの健康寿命を伸ばすための活動に少しでも貢献できるよう努力したいと思います。

★ ★ ★ 作業療法士 堀 悟史

「栄養教室」を継続して行っています。 「栄養教室」で疾患予防・健康維持！

栄養教室は、生活習慣改善への意識付けや習慣化を促し、患者さんの生活習慣病やその他疾患の予防、健康維持を目的に平成28年より毎月1回病棟にて行っております。

今年度は「嚥下・口腔ケア」「便秘予防と水分補給」「生活習慣病」をテーマに実施しています。クイズを行ったり、活発な質問や意見交換があったりと毎回患者さんと楽しく勉強することができています。

今後も、栄養教室を通して患者さんの疾患予防・健康維持に取り組んでいきたいと思っております。

栄養部 谷口



桜フェスタ



今年度の桜フェスタも感染対策の観点からも、病棟毎での開催となりました。開催前から「いつ桜フェスタあるの?」「バザーは今年もある?」といった楽しみにされている声を患者さんから頂いていました。しかし、感染状況が悪化する時期もあり予定通りの日程で開催できないこともありました。それでも全病棟で執り行うことができ、患者さんがゲームで景品が当たり喜ばれている姿や、バザーで真剣に欲しい物を選んでいる姿、売り子さんとして一生懸命お手伝いをしてくれる姿を見て、今年も無事に開催することができて本当によかったと感じることができました。

変化や刺激の少ない入院生活において、少しでも患者さんの笑顔や「楽しい」と思える気持ちを引き出せたことが嬉しいです。今後も、患者さんが楽しむことのできる活動や環境を病院全体で協力しながら作り上げたいと思います。

(作業療法士 河口 司)

能登半島地震から1年

～被災地への思い～

2024年1月1日の能登半島地震から1年が経ちました。能登半島地震の復興に向けた取り組みが続く中、同年9月には石川県能登半島で豪雨災害が発生し多くの被害がでました。このような災害が再び発生した事に心を痛めるとともに、被災地の方々が一日も早く平穏な日常生活に戻られることを祈っております。

私は能登半島地震の直後『災害派遣精神医療チーム』としての被災地支援活動等に参加し、被災地の現状を目の前にして「被災地で自分達に何ができるのか…。」葛藤の日々を送っていましたが、その活動も終了をむかえました。私はこれまでの日常生活に戻り、病院での日々の業務や自身の生活に追われることで、少しずつ能登半島地震への意識が薄れていくのを感じながら生活を送っていました。



そんな中、被災により能登から金沢へ避難され、生活をはじめられた方などの話を直接聞かせてもらえるご縁がありました。その話からは慣れない土地での生活の中にありながら、『被災した人と人とのつながりや絆を大切に生きるたくましさ』と『再び慣れ親しんだ故郷へ帰りたいという強い思い』を感じました。この時、能登半島地震はまだ終わっていない…とハッとさせられました。



人は忘れる生き物です。忘れることは人が生きていく上で大切な力だと思います。そうでなければ、人間は一生悲しみの中で生きていくことになることもあるからです。どんなに耐え難い苦しい道を歩んでいても、時は流れていく…。人は前へ歩き続けなければならない。

能登半島地震から1年が経過し、現地の現状を報道で目にする機会は減りつつありますが、復興や現地の人々の生活再建はまだ始まったばかりです。あらためて震災からの復興には長い時間が必要となり、また震災によるこころのケアにも同様に時間がかかることを知りました。被災された方々のたくさんの大切な思いを背負いながら、新しい明日に向かって一緒に歩いていくすべをこれからも模索していきたいと思います。

(作業療法士 堀 悟史)



認知症・思いつき日記 人物誤認だろうか？



1.

朝食を終えてからデイサービスへ送ります。

2.

似たようなスタッフが3人くらいいるらしい…

3.

夕方デイサービスに迎えに…

4.

母の中では、デイサービスに送っているのも、デイサービス内で利用者のお世話をしているのも、同じ人物らしく…人の3倍働く良いヨメらしいです(笑)



ルールは従うため守るためにある??

すっかりあたたかくなり春たけなわを実感する毎日ですが、みなさんも新年度が始まり様々な思いを巡らしているのではないのでしょうか?そんな新しい何かに直面することの多い春ですが、今日はその中のルールについて考えていきたいと思います。

組織の中には様々なルールや規則があります。文化や風土などの暗黙の了解の域まで含むと、数多くのルールの上に組織が成り立っているといっても過言ではありません。ではそのルールは何故つくられるのでしょうか?組織におけるルールとは、同じ目的を遂行するために作られています。逆説的に考えると、同じ目的を達成するために必要ではないルールは、合理的ではなく非合理的とも言えます。みなさんの周りにはそんな謎ルールありますか?学校や職場で当たり前とされているルールについてぜひ考えてみましょう。

例えば学校の校則について……キャラクターの持ち物は使用禁止(小学校や保育園など) ・前髪は眉上まで ・靴下は白色 などなど どれも一度は目にしたことのある校則かもしれませんがいかがでしょうか?

例えばキャラクターの持ち物について禁止の理由は勉強に集中できないから。いじめなどのトラブルに発展するからなどが考えられます。逆に好きなキャラクターの持ち物があることでモチベーションが上がったり、同じキャラクターが好きな子ども同士で友達ができたりすることも考えられます。同じ現象でも捉え方は人それぞれですし、経験を踏まえて結論に至ることが大部分です。この校則がある学校は、禁止理由の過去などがあったのかもしれませんが。ルールが作られるには理由があります。そしてそのあたりのルールも時代と共に変化していくことが想定されます。ルールを守るのはそれがルールだからでも、それを破ると怒られるからでもありません。

ルールに従う前にまず考えてみる。各々がこうした取り組みを行うことが、職場や学校・組織の在り方を考えることにつながるのだと思います。よくわからないルールにイライラする前に一度立ち止まってみんなで話し合ってみませんか?
自分の感情に責任を持って行動していきたいですね。

TOPIC OF anger management

病院理念

精神科専門病院として、心のケアから高齢者医療にいたるまで、
心のこもった医療を行います。

基本方針

- 1) 優れたスタッフを育成し、質の高い医療を提供します。
- 2) 安全性、信頼性を常に考え、十分な説明と理解と同意に基づいて治療を行います。
- 3) 地域医療の発展に貢献する病院を目指します。

患者さんの権利

- 1) あなたは、良質な医療を受ける権利を持っています。
- 2) あなたは、医師、病院を自由に選択する権利を持っています。
- 3) あなたは、十分な説明を受けた後に、治療を受け入れるか、または拒否する権利を持っています。
- 4) あなたは、ご自身の情報を得る権利を持っています。
- 5) あなたは、ご自身の情報について守られる権利を持っています。
- 6) あなたは、健康教育を受ける権利を持っています。
- 7) あなたは、いかなる状態であっても、1人の人間として、その人格や価値観を尊重され、尊厳が保たれる権利を持っています。

※なお、皆さんは権利とともに義務も発生いたします。

入院生活を送っていただくうえでは必ず病院規則はお守り下さい。

《外来診察スケジュール》

診療時間	診療科目		月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:00)	精神科	一診	岩崎	眞鍮	林	南野	天野	南野
		二診				大平		大平
		三診						
	内科			常勤医			常勤医	
午後 (13:30~17:00)	精神科	一診		大平	天野	岩崎	林	
		二診	眞鍮					
	内科							

《外来受付時間》

○ 初診 午前 8:30~11:00 午後 13:00~16:00
◎ 再診 午前 8:30~11:30 午後 13:00~16:30

・初診の場合は、待ち時間短縮のため、必ず前日(土・日・祝日を除く)までに「地域連携室」にご連絡下さい。

医療法人社団浅ノ川



Sakuragaoka Hospital

標榜診療科 精神科 内科 歯科

●精神科デイケア・デイナイトケア 「さくらんぼ」
●グループホーム 「プリムラ」「ハイツ北金沢」

TEL:076-258-1454

〒920-3112 石川県金沢市観法寺町へ174番地

